

【本日のミサ】年間第 23 主日

入祭：典 124 ③「主よ あなたは 永遠のことば」

答唱詩編：典 35 ①③④「神に向かって」

アレルヤ唱：典 270 23A 「神はキリストのうちに世をご自分に和解させ、
和解のことばをわたしたちにゆだねられた。」

奉納：典 93 「心を尽して神をたたえ」（7 時ミサなし）

拝領：典 144 「谷川の水を求めて」（7 時ミサなし）

閉祭：典 156 「めぐみのパン」



「聖書と典札」コラム

第一朗読 エゼキエルの預言 33:7-9

（主の言葉がわたしに臨んだ。）「人の子よ、わたしはあなたをイスラエルの家の見張りとした。あなたが、わたしの口から言葉を聞いたなら、わたしの警告を彼らに伝えねばならない。わたしが悪人に向かって、『悪人よ、お前は必ず死なねばならない』と言うとき、あなたが悪人に警告し、彼がその道から離れるように語らないなら、悪人は自分の罪のゆえに死んでも、血の責任をわたしはお前の手に求める。しかし、もしあなたが悪人に対してその道から立ち帰るよう警告したのに、彼がその道から立ち帰らなかったのなら、彼は自分の罪のゆえに死に、あなたは自分の命を救う。」

第二朗読 使徒パウロのローマの教会への手紙 13:8-10

（皆さん、）互いに愛し合うことのほかは、だれに対しても借りがあってはなりません。人を愛する者は、律法を全うしているのです。「姦淫するな、殺すな、盗むな、むさぼるな」、そのほかどんな掟があっても、「隣人を自分のように愛しなさい」という言葉に要約されます。愛は隣人に悪を行いません。だから、愛は律法を全うするものです。

福音朗読 マタイによる福音 18:15-20

（そのとき、イエスは弟子たちに言われた。）「兄弟があなたに対して罪を犯したなら、行って二人だけのところで忠告しなさい。言うことを聞き入れたら、兄弟を得たことになる。聞き入れなければ、ほかに一人か二人、一緒に連れて行きなさい。すべてのことが、二人または三人の証人の口によって確定されるようになるためである。それでも聞き入れなければ、教会に申し出なさい。教会の言うことも聞き入れないなら、その人を異邦人か徴税人と同様に見なしなさい。

はっきり言うておく。あなたがたが地上でつなぐことは、天上でもつながれ、あなたがたが地上で解くことは、天上でも解かれる。また、はっきり言うておくが、どんな願い事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心をついて求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえてくださる。二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである。」